著者名:	論文題名:	掲載誌名:	掲載巻:	掲載号:	発行年:	掲載頁:
石崎嘉彦	ヘーゲルにおける絶対的否定と限定的否定ー『精神現象学』における主と奴の弁証法についての一考察	待兼山論叢		14(哲学篇)	1980	p53～69
石橋とし江	ヘーゲルの観念論	法政大学大学院紀要		5	1980	p27～38
(司会)市倉宏祐 佐藤康邦	協同討議	金子武蔵編『ヘーゲル』(以文社)			1980	p261～286
稲葉守	エヌ・ゲー・チェルヌイシェーフスキーはヘーゲル「美学」を読んだか？	ロシア語ロシア文学研究		12	1980	p29～41
稲福日出夫	ヘーゲル「法哲学」の形成過程	同志社法学	32	1	1980	p53～97
入江幸男	ヘーゲルの「エレメント」概念と『精神現象学』の方法	哲学論叢(大阪大学文学部哲学哲学史第二講座)		6	1980	p67～87
岩城見一	〈芸術の終焉〉と〈芸術の可能性〉ーヘーゲル美学の解釈について	哲学研究	46	11	1980	p1029～1059
岩淵剛	ヘーゲル道徳論の研究(その2)	岡崎女子短期大学研究報告		13	1980	p17～26
上野忠士	世界審判としての世界史3ーヘーゲルの自由の精神の発展について〔ギリシア世界〕	大阪教育大学紀要 Ⅱ社会科学・生活科学	29	2・3	1980	p69～78
海老澤善一	ヘーゲル論理学研究6(1)ー反省の原理と比例の論理 上ーイェナ論理学の方法について	愛知大学文学論叢		64	1980	p1～36
海老澤善一	ヘーゲル論理学研究6(2)ー反省の原理と比例の論理 下 ーイェナ論理学の方法について	愛知大学文学論叢		65	1980	p1～42
太田信二	ヘーゲル論理学における反省の論理についてーヘーゲルの本質理解との関連において	一橋論叢	84	4	1980	p520～538
荻野象三	ヘーゲルにおける思索の地平1	近畿大学教養部研究紀要	12	1	1980	p1～11
小倉志祥	カントとヘーゲル	金子武蔵編『ヘーゲル』(以文社)			1980	p6～28
片柳栄一	若きヘーゲルにおける「民族宗教」の理想とキリスト教の実定性3	関西学院大学論攷		45	1980	p27～49

加藤尚武	『精神現象学』におけるキリスト教の必然性	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p171～195
門倉正美	ヘーゲルの〈懐疑主義〉論－懐疑主義、批判哲学、弁証法	山口大学教養部紀要（人文科学篇）		14	1980	p1～5
金子武蔵	序	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p1～5
隈元忠敬	ヘーゲル『精神現象学』における〈Negation〉	広島大学文学部紀要		40	1980	p1～24
隅元泰弘	ヘーゲルにおける支配と形成－「主と奴」の章をめぐって	同志社哲学年報		3	1980	p36～51
栗原隆	懐疑と否定－ヘーゲル「懐疑論論文」の研究	思索		13	1980	p61～79
黒沢惟昭	ヘーゲルの教育観について3－『法の哲学』を中心に	人文研究（神奈川大学人文学会）		77	1980	p119～136
上妻精	倫理学から見たヘーゲル	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p196～232
小林靖昌	道徳性と人倫性	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p29～54
小林靖昌	ヘーゲルにおける「エートス」の問題	岐阜大学教育学部研究報告　人文科学		28	1980	p1～13
斉藤秀夫	真理と経験一『精神現象学』Einleitungを中心に	法政大学大学院紀要		4	1980	p1～8
相良謙一	ヘーゲル哲学における無限性の概念の考察	哲学論文集		16	1980	p81～100
座小田豊	ギリシア的なるものの「再構成」、あるいは理想と現実の架橋－ヘーゲルのイェナ「人倫の哲学」構想におけるアリストテレス哲学受容の意味について	文化（東北大学文学会）	43	3･4	1980	p222～240
笹澤豊	ヘーゲルと人倫の問題	常盤学園短期大学研究紀要		9	1980	p7～13
笹澤豊	愛と所有の運命－ヘーゲルにおける思弁的思惟の形成と市民社会	倫理学年報		29	1980	p29～42
佐藤和夫	近代懐疑主義と弁証法	哲学（日本哲学会）		30	1980	p158～169

志田昇	ヘーゲル『美学講義』序論とマルクス主義－感性と理性との関係を中心に	唯物論研究		3	1980	p66～82
杉田正樹	ヘーゲルの真理論 中『精神現象学』の「緒論」を中心として	関東学院大学文学部紀要		30	1980	p39～51
須藤自由児	ヘーゲルの『法哲学』市民社会論の一考察－国家論に即して	倫理学年報		29	1980	p57～69
瀬尾育生	続・ヘーゲル美学思想についての諸註	名古屋工業大学学報		32	1980	p35～42
関家新助	ヘーゲルの国家論(〔故木村忠二郎名誉教授追悼号〕)	社会事業の諸問題		26	1980	p135～171
高田純	ヘーゲルの倫理的行為論下	帯広畜産大学学術研究報告 第2部	5	3	1980	p119～144
高田純	共同体的自由と相互承認	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p55～76
高橋昭二	若きヘーゲルにおける媒介の思想3	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		6	1980	p1～42
高柳良治	ヘーゲルにおける個人・市民社会・国家	国学院経済学	28	1	1980	p59～81
竹村喜一郎	市民社会観の旋回と理性国家の位相	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p94～122
舘野 受男	ヘーゲル法哲学研究(その2)	茨城工業高等専門学校研究彙報		15	1980	p31～40
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』の「意識」研究	大阪教育大学紀要 Ⅰ 人文科学	28	2・3	1980	p45～54
田中芳美	ヘーゲルにおける「善」の概念	倫理学研究		10	1980	p63～73
谷口孝男	ヘーゲルの「人間学」	札幌商科大学学会論集人文編		26	1980	p63～76
谷口孝男	ヘーゲルの「人間学」	札幌商科大学学会論集人文編		27	1980	p79～98
田端信廣	ヘーゲルの無限性の概念－イェーナ前期を中心として	文化学年報		29	1980	p91～108
鶴田孝	『法の哲学』におけるヘーゲルのカント道徳哲学の批判について－付：カントの道徳哲学の根本原理について	長崎県立国際経済大学論集	13	3・4	1980	p37～95

照井日出喜	ヘーゲルとヘルダーリン	唯物論研究		3	1980	p242～263
中尾隆司	ヘーゲル社会哲学の発展Ⅳ－「理性の象形文字」としての国家	神戸山手女子短期大学紀要		23	1980	p33～44
中岡成文	ヘーゲルにおける絶対性のアスペクトとしての深処(ふかみ)	立命館文学		424 ～426	1980	p1078～1102
中埜肇	運命と和解	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p77～93
中埜肇	Physicaとmechanica－ヘーゲル「惑星軌道論」におけるひとつの問題	筑波大学哲学・思想学系論集		6	1980	p17～26
中山愈	歴史における個人の役割	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p123～148
中山愈	ヘーゲルとフリーメーソン	広島女子大学文学部紀要		15	1980	p99～111
中山愈	ヘーゲルにおける夜の原像	哲学（広島哲学会）		32	1980	p30～44
中埜肇	ヘーゲルと「第三の波」	城塚登『ヘーゲル』月報（講談社）		31	1980	p3～5
西憲二	後期ヘーゲルの市民社会と経済認識－経済的自由主義をめぐって	経済科学	27	2	1980	p34～55
橋本信	ヘーゲル『法の哲学』における「家族」の倫理	哲学（北海道大学哲学会）		17	1980	p62～79
藤原保信	理想と現実の宥和2－初期ヘーゲルの政治思想	早稲田政治経済学雑誌		264	1980	p113～147
船盛茂	初期イェ―ナ時代におけるヘーゲルに関する一考察－論理学と形而上学をめぐって	美作女子大学美作短期大学研究紀要		25	1980	p1～11
船山信一	「構造的発展における哲学」としての体系－西田哲学とヘーゲル哲学の一対立点－	哲学研究	46	11	1980	p81～100
坊城　明文	敢えて問う「最高の共同体は最高の自由」か―フィヒテの共同体構想とヘーゲルの批判―	思索		13	1980	p41～61
星敏雄	絶対的否定性と実体-主体テーゼ－ヘーゲル哲学の基本的枠組	千葉大学教養部研究報告A		13	1980	p199～236
星野智	十九世紀のヨーロッパ＝ロシア像－ヘーゲル左派の「行為の哲学」の歴史観	法学新報	87	5･6	1980	p71～97

星野勉	自由と疎外－ヘーゲルの「自己疎外」論	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p149～170
本多修郎	ヘーゲルの思弁的論理とギリシア哲学	東北福祉大学紀要	4	2	1980	p1～54
本多修郎	ヘーゲルの数理哲学	東北福祉大学紀要	5	2	1980	p105～119
松戸行雄	ヘーゲル論理学における「始元の弁証法」上－ハイデルベルク、テュ―ビンゲン論争を追って	東洋学術研究	19	1	1980	p190～204
松戸行雄	ヘーゲル論理学における「始元の弁証法」下－ハイデルベルク、テュ―ビンゲン論争を追って	東洋学術研究	19	2	1980	p181～197
松村健吾	ヘーゲル、イエナ期における自己意識の概念の生成と労働の弁証法	哲学（日本哲学会）		30	1980	p147～157
峰島旭雄	西田哲学とヘーゲル	比較思想研究		7	1980	p48～55
向井久	ヘーゲルにおける形成と承認	哲学論叢（京都大学哲学論叢刊行会）		7	1980	p53～64
谷嶋喬四郎	ヘーゲル弁証法の論理学的意味－論理と倫理	金子武蔵編『ヘーゲル』（以文社）			1980	p233～260
安井邦夫	循環と円環－フィヒテ・ヘーゲル・ハイデッガー	思想		678	1980	p39～58
山口誠一	ヘーゲル『精神現象学』に於ける「事象そのもの」について	哲学誌		23	1980	p35～76
山口祐弘	主体的真理観と反省主体－ヘーゲルの真理思想における表現問題	思想		671	1980	p46～69
山田忠彰	ヘーゲル人倫論の基底－社会存在論の可能性	倫理学年報		29	1980	p43～56
山内廣隆	ヘーゲルにおける推理と承認－「イエナ精神哲学」1805／06研究	哲学（広島哲学会）		32	1980	p45～58
山本道雄	ヘーゲル初期論理学の研究	神戸大学教養部論集		26	1980	p1～38
吉田六弥	ヘーゲルの選言推論－概念と実在性	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		6	1980	p43～66
渡辺二郎	ヘーゲルにおける否定的なもの	理想		563	1980	p34～51
渡辺二郎	無の問題をめぐるドイツ観念論期の思索とハイデッガーの思索との連関	哲学（日本哲学会）		30	1980	p1～24

伊坂青司	ヘーゲルの矛盾論－形式論理学における「矛盾」と関連において	哲学（日本哲学会）		31	1981	p179～189
石橋とし江	ヘーゲルにおける始元の考察	哲学年誌（法政大学大学院哲学専攻）		14	1981	p65～79
石崎嘉彦	初期ヘーゲルにおける「生」概念	倫理学研究（関西倫理学会）		11	1981	p58～70
稲福日出夫	ヘーゲル人権論序説－個人と社会	社会科学		28	1981	p1～29
稲葉守	ヘーゲルの芸術論－文芸科学の確立のために	横浜市立大学論叢　人文科学系列	32	1	1981	p41～98
入江幸男	方法論としての承認論	哲学論叢（大阪大学文学部）		8	1981	p71～94
岩淵剛	ヘーゲル道徳論の研究(その3)	岡崎女子短期大学研究報告		14	1981	p19～28
梅林誠爾	ヘーゲルと近代微積分学1	熊本女子大学学術紀要		33	1981	p38～46
加藤尚武	哲学にとって体系とは何か	哲学（日本哲学会）		31	1981	p16～30
菊池直明	ヘーゲル『法の哲学』と福祉理論	東北福祉大学紀要		61	1981	p31～45
北川浩治	『精神現象学』に於ける悟性の構造に就いて－意識と言語に関する一考察	熊本大学教養部紀要（人文・社会科学編）		16	1981	p106～90
木村靖比古	ヘーゲルの法哲学思想と経済体制1	富士大学紀要	13	2	1981	p1～13
久保陽一	青年ヘーゲルの転回の問題1	文化（駒沢大学文学部文化学教室）		6	1981	p55～107
栗原隆	無化と構成－ヘーゲル「信と知」への一考察	思索		14	1981	p41～60
斎藤隆	ヘーゲルからフォイエルバッハへ－現代哲学の原点としてのヘーゲル哲学批判	精神科学		20	1981	p69～80
酒井修	論評と構築とのあいだ－ヘーゲル「イェ―ナ時代の論理学」研究1	哲学研究	47	1	1981	p16～78
笹澤豊	イエーナ期のヘーゲルにおける意識と人倫2	理想		577	1981	p108～114
笹澤豊	無限者の形而上学－『精神現象学』以前のヘーゲルにおける実体主体論	哲学（日本哲学会）		31	1981	p168～178

笹澤豊	イエーナ期のヘーゲルにおける意識と人倫1	理想		576	1981	p95～102
佐藤和夫	「家族の崩壊」と近代市民社会－ヘーゲルの家族論との関連で	唯物論研究		5	1981	p159～176
佐藤康邦	ヘーゲルの実践哲学－目的論の考察	思想		684	1981	p154～171
柴田隆行	ヘーゲルの宗教哲学における共同体の形成過程について	大学院紀要（東洋大学大学院）		18	1981	p1～13
杉田正樹	ヘーゲルにおける〈媒介〉の思想	関東学院大学文学部紀要		34	1981	p57～71
銭廣雅之	現象する知(I)－ヘーゲル『精神現象学』の「緒論」に基づいて	一橋研究（一橋大学大学院）	5	4	1981	p136～149
銭廣雅之	現象する知(II)－ヘーゲル『精神現象学』の「緒論」に基づいて	一橋研究（一橋大学大学院）	6	2	1981	p48～60
高橋進	ヘーゲル『精神の現象学』における〈教養(形成)〉について	学習院大学文学部研究年報		27	1981	p17～33
高橋昭二	若きヘーゲルにおける媒介の思想4	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		8	1981	p1～5
高山守	ヘーゲルにおける自己意識の概念1－問題設定	アカデミア人文・自然科学編、保健体育編		33	1981	p65～91
高山守	「我が意」と「我意」－ヘーゲルにおける自己意識の概念より	哲学雑誌	96	768	1981	p44～67
高橋昭二	知識とドクサ	哲学論叢（大阪大学文学部）		9	1981	p1～42
高峯一愚	ヘーゲルにおける「意識の超越性」寸描	哲学雑誌	96	768	1981	p152～179
武田趙二郎	若きヘーゲルにおける生と精神の概念	法政大学教養部紀要		37	1981	p47～64
田中茂樹	ヘーゲルの法哲学における即自かつ対自的な国家(2)	法と政治（関西学院大学法政学会）	32	3	1981	p79～82
谷口孝男	ヘーゲルの「意識経験の方法」	倫理学年報		30	1981	p135～147
谷口孝男・橋本信	ヘーゲルの現象学的方法と弁証法－『精神の現象学』第一章「感性的確信」の場合	唯物論研究		5	1981	p143～158

田原八郎	ヘーゲル論理学2	大谷女子大学紀要	16	2	1981	p92～125
田原善郎	ヘーゲルとルター－身体と欲望について	人文科学論集		14	1981	p73～97
田端信廣	ヘーゲルにおける「犯罪と刑罰」の概念	倫理学研究		11	1981	p46～57
出口純夫	ヘーゲルと偶然の問題	文学研究科紀要（早稲田大学大学院文学研究科）		27	1981	p17～31
長倉誠一	自己を完遂する懐疑論と哲学者	哲学年誌（法政大学大学院哲学専攻）		14	1981	p49～64
中岡成文	近代市民社会とそのイデオロギーに対する批判－ヘーゲル・フランクフルト草稿を中心として	文芸と思想		45	1981	p60～40
中岡成文	否定性と規範－ヘーゲル哲学における実践的なもの	思想		684	1981	p172～188
中山愈	ヘーゲルの狡智論（〔広島女子大学文学部〕創立60周年記念号）	広島女子大学文学部紀要		16	1981	p97～111
藤原保信	人倫の再興1－『精神現象学』の政治哲学	早稲田政治経済学雑誌		266・267	1981	p100～130
船盛茂	若きヘーゲルとキリスト教の精神	美作女子大学・美作女子大学短期大学部紀要		26	1981	p1～10
星敏雄	意識と存在　上－『精神現象学』の位置付け	千葉大学教養部研究報告　A		14	1981	p155～177
星野勉	ヘーゲルにおける「道徳教育」論	道徳と教育（日本道徳教育学会）		228	1981	p37～42
星野勉	ホッブズ・ルソー・ヘーゲル(1)－「自由」と「共同」をめぐって	東京大学教養学科紀要		13	1981	p81～96
細川亮一	実体と主体	哲学年報		40	1981	p41～67
松本正男	ヘーゲルの行為論について	山口大学文学会誌		32	1981	p43～62
松山寿一	「自然の無力」またはヘーゲルにおける自然　上	立命館文学		433・434	1981	p717～735
宮下春三	ヘーゲルの対自存在について	麻布大学教養部研究紀要		14	1981	p19～24

森田郁男	ヘーゲルにおける思弁的認識論の成立	東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学	32		1981	p11～23
山崎純	人倫的なものにおける悲劇の上演－ヘーゲル哲学の基本タームとしてのAufopferung	倫理学年報		30	1981	p149～164
吉田茂芳	有と本質－ヘーゲル研究2	竜谷大学経済経営論集（〔龍谷大学〕経済学部創立20周年論文集）	21	3	1981	p109～119
吉田六弥	ヘーゲルの欲望論－自己意識と形成	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		8	1981	p95～120
米永政彦	ヘーゲルにおける「転倒した世界」－上	人文学科論集（鹿児島大学法文学部）		17	1981	p1～22
青山政雄	テロルとヘーゲルの哲学問題	静岡女子短期大学研究紀要		29	1982	p27～13
赤井清	ヘーゲルの無限論－悪無限と真無限	哲学論集		29	1982	p73～77
筏津安恕	ヘーゲル法哲学の成立の一管見－イェーナ前期法哲学における所有・法と人倫の問題	法政論集（名古屋大学法学部）		92	1982	p68～100
池田俊彦	ヘーゲル精神現象学における「実体」	法政大学教養部紀要		42	1982	p45～61
石橋とし江	ヘーゲルにおける矛盾	法政大学大学院紀要		3	1982	p1～10
稲葉守	チェルヌイシェフスキーの滑稽観はヘーゲル美学の水準を越えているか？	ロシア語ロシア文学研究		14	1982	p75～87
入江幸男	ヘーゲル『精神現象学』における無限判断とエレメント	大阪工業大学紀要 人文社会篇	26	2	1982	p55～70
岩淵剛	ヘーゲル道徳論の研究(その4)	岡崎女子短期大学研究報告		15	1982	p1～16
梅林誠爾	ヘーゲルと近代微積分学2	熊本女子大学学術紀要		34	1982	p1～11
門倉正美	ヘーゲル『精神現象学』における自己意識に関する三つのテーゼについて	山口大学教養部紀要		16	1982	p1～13

金子武蔵	ヘーゲルの就職テーゼ	日本学士院紀要	38	2	1982	p41～81
亀谷辰男	イエナ期ヘーゲル人倫論	静岡大学教養部研究報告	18（人文・社会科学篇）	2	1982	p234～200
菊地恵善	自己意識と精神	論集（東京大学哲学研究室）		1	1982	p46～63
久保陽一	ヘーゲルと近代	唯物論研究		7	1982	p128～139
隈元忠敬	1801-02年におけるﾌｨﾋﾃのヘーゲル批判－ミュンヘン学派におけるﾌｨﾋﾃ・ルネサンスの運動(二)	理想		589	1982	p98～107
隈元忠敬	1801-02年におけるﾌｨﾋﾃのヘーゲル批判－ミュンヘン学派におけるﾌｨﾋﾃ・ルネサンスの運動(一)	理想		588	1982	p116～130
隈元泰弘	ヘーゲルの相互承認論	倫理学研究		12	1982	p25～38
倉内 利美	ﾊﾝｽ･ﾛｲﾀｰによる「ｷﾙｹｺﾞｰﾙとヘーゲルの関係」の理解について	比較思想の途 / 筑波大学比較思想ｺﾛｷｳﾑ		1	1982	p25～25
上妻精	ヘーゲルの言葉「神は死せり」1	成蹊大学文学部紀要		18	1982	p46～61
小林靖昌	市民社会の再生－ヘーゲル人倫思想の歴史的展開(第6回〔社会思想史学会〕大会記録 ヘーゲル没後150 年記念〈シンポジウム〉)	社会思想史研究		6	1982	P29～44
小林道徳	ヘーゲル『精神現象学』の考察3	福井大学教育学部紀要第1部 人文科学		31（哲学）	1982	p1～9
佐々木俊三	書字と像－ヘーゲル『エンチクロペディ』の言語論に寄せて	文化	46	1･2	1982	p1～19
佐々木孝洋	精神の定在としての言葉－ヘーゲル『精神現象学』の研究	長崎大学教養部紀要人文科学	23	1	1982	p1～25
笹倉秀夫	自由人の連帯－ヘーゲル政治思想の形成と展開について2完	法学雑誌（大阪市立大学法学会）	29	1	1982	p29～88
笹倉秀夫	自由人の連帯－ヘーゲル政治思想の形成と展開について1	法学雑誌（大阪市立大学法学会）	28	3･4	1982	p383～410
笹澤豊	ヘーゲルの「哲学」と歴史的現実	哲学・思想論叢		1	1982	p29～41

柴田隆行	ヘーゲル哲学における有限なものの弁証法と無限なものの弁証法	東洋大学紀要（教養課程編）		21	1982	p71～81
島崎隆	ヘーゲル論理学の注釈書をめぐって	唯物論研究		6	1982	p136～147
寿福真美	相互承認と物象化(1)－初期ヘーゲルの社会理論	社会労働研究	28	3･4	1982	p91～138
寿福真美	相互承認と物象化(2)－初期ヘーゲルの社会理論	社会労働研究	29	1･2	1982	p1～108
新明薫	自由の理念と時間－ヘーゲルの歴史哲学	思索		15	1982	p95～114
末吉康幸	『精神現象学』における自己吟味の意味について	哲学論文集		18	1982	p117～123
杉田正樹	他者と承認	新田・宇野編「他者の現象学」			1982	p87～117
高橋昭二	若きヘーゲルにおける媒介の思想5	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		10	1982	p1～53
高田純	相互承認の論理学的基礎－ヘーゲルの実践哲学と論理学との関係をめぐって	帯広畜産大学学術研究報告 第2部	6	1	1982	p1～35
滝口清栄	シュティルナーにおける唯一者と連合の構想	法政大学大学院紀要		9	1982	p11～28
竹村喜一郎	ヘーゲルにおける言語と思惟	言語文化論集		13	1982	p213～229
竹内章郎	ヘーゲルにおける主体-客体の同一性と概念判断の論理	哲学（日本哲学会）		32	1982	p127～137
田端信廣	ヘーゲルのイェ―ナ『論理学』(1804/5)における「無限性」概念	阪南論集 人文・自然科学編（大越勝秋教授退任記念号）	17	2･3	1982	p89～99
鼓澄治	哲学とスケプティチムス－ヘーゲルのechter Skeptizismus	哲学論叢（京都大学哲学論叢刊行会）		9	1982	p63～72
戸田洋樹	『精神現象学』に於ける「感性的確信」の弁証法の問題	横浜市立大学論叢 人文科学系列	34	1	1982	p1～24
豊福淳一	ヘーゲルにおける愛と信仰の弁証法	防衛大学校紀要		44	1982	p1～33
中山愈	ヘーゲルにおける不安の概念	倫理学年報		31	1982	p57～72

中山愈	ヘーゲルにおける理性の無力感	広島女子大学文学部紀要		17	1982	p55～67
永尾孝雄	ヘーゲル「ドイツ憲法論」についての一考察	熊本女子大学		34	1982	p12～22
永尾孝雄	若きヘーゲルと国家	法哲学年報1982年版			1982	p160～171
長澤邦彦	ヘーゲルのフィヒテ批判	倫理学研究		12	1982	p13～14
中埜肇	自然哲学の理念－ヘーゲルと現代	『世界観と哲学の原理』（東海大学出版会）			1982	p181～204
南条文雄	人倫的行為主体の形成過程－ヘーゲル『法の哲学』における「心術」と「承認」の問題について	倫理学年報		31	1982	p73～90
八田隆司	初期ヘーゲルにおける「実定性」の問題	文学研究科紀要（早稲田大学大学院文学研究科）		27	1982	p1～10
氷見潔	ヘーゲル判断論釈義	奈良県立短期大学研究季報	30	1	1982	p69～91
氷見潔	「良心のディアレクティク」と「絶対批判」ーヘーゲル、田辺の比較論	奈良県立短期大学研究季報	29	4	1982	p61～79
氷見潔	ヘーゲルの啓示宗教論－『精神現象学』に於ける	哲学研究	47	2	1982	p252～268
藤原保信	抽象法と道徳－ヘーゲル『法の哲学』をめぐって	早稲田政治経済学雑誌（佐藤立夫教授定年退職記念論文集）		269	1982	p129～164
藤田俊治	ヘーゲルと先験的論理学	白山哲学		16	1982	p140～159
保坂　明美	フィヒテとヘーゲル―知識学と「精神現象学」―	立正大学哲学・心理学会紀要		8	1982	p18～35
松山寿一	「自然の無力」またはヘーゲルにおける自然 下	立命館文学		444・445	1982	p875～892
松本正男	ヘーゲルの因果性論	哲学雑誌	97	769	1982	p45～65
向井久	法と道徳における個と類の発生的弁証法－ヘーゲルとピアジェ	哲学（日本哲学会）		32	1982	p138～149
村岡晋一	ヘーゲルにおける反省の問題	現代思想	10	15	1982	p246～257

山崎純	ヘーゲルの祭祀論	人文論集（静岡大学人文学部）		33	1982	p53～86
山口貞明	主体性と社会的統合－ヘーゲル法哲学における特殊態の問題 上	哲学（三田哲学会）		75	1982	p73～93
山口誠一	『精神の現象学』の「私」について	哲学誌		24	1982	p121～142
山内廣隆	イエーナにおけるヘーゲル哲学の生成1－「実体主体」論的見地の発生	哲学（広島哲学会）		34	1982	p41～55
油納芳生	ヘーゲルにおける社会概念の形成・序説－ベルン期ヘーゲルの主体観を手がかりにして1	修道法学	5	1	1982	p1～32
油納芳生	ヘーゲルにおける社会概念の形成・序説2完－ベルン期ヘーゲルの主体観を手がかりにして	修道法学	5	2	1982	p185～211
荒木正見	経験する意識の構造	理想		605	1983	p116～125
有井行夫	ヘーゲル法哲学批判の原理－マルクス「国法論批判」における	駒沢大学経済学論集	14	4	1983	p77～142
石崎嘉彦	ヘーゲルの市民社会論－ヘーゲル人倫論における市民社会の役割について	待兼山論叢（大阪大学文学部）		17	1983	p1～19
石井伸男	ヘーゲルと自然法思想1	高崎経済大学論集	26	3	1983	p57～76
石神豊	ヘーゲルの哲学的命題論	東洋学術研究（仏典漢訳の諸問題〈特集〉）	22	2	1983	p161～184
稲葉稔	「承認」の問題－『精神現象学』をめぐって	理想		605	1983	p78～95
岩淵剛	ヘーゲル人倫論の研究(その1)	岡崎女子短期大学研究報告		16	1983	p1～15
海老澤善一	若きヘーゲルの共同体論理	愛知大学文学論叢		72	1983	p1～34
大平伍郎	人倫・芸術・哲学－ヘーゲルのギリシャ観	東京経済大学人文自然科学論集（門上秀叡教授退任記念号）		63	1983	p334～301
大田孝太郎	ヘーゲルの言語論に関する一考察	哲学論叢（大阪大学文学部哲学史第二講座）		11	1983	p29～54

大畑雅弘	ヘーゲル弁証法と始元論の問題ーヘーゲル弁証法の研究(1)	龍谷哲学論集(龍谷哲学会)		5	1983	p26～57
岡本明人	ヘーゲルの＜疎外論＞の検討ー陶冶論的解釈の批判	教育哲学研究		48	1983	p1～14
岡本裕一朗	「絶対知」の成立と『精神の現象学』の構成	哲学論文集		19	1983	p65～81
荻野象三	ヘーゲルにおける思索の地平2	近畿大学教養部研究紀要	14	3	1983	p55～68
荻野象三	ヘーゲルにおける思索の地平3	近畿大学教養部研究紀要	15	1	1983	p47～57
荻野象三	ヘーゲルにおける思索の地平4	近畿大学教養部研究紀要	15	2	1983	p197～207
小坂田英之	ヘーゲル『大論理学』初版「存在論」における「反省規定」の問題ー定在における本源的主体の「対他存在」と「即自存在」の構造	大学院紀要(東洋大学大学院)		20	1983	p41～55
小野誠二	研究ノートー弁証法の歴史的散見(8) ヘーゲルの弁証法(その3)	学園論集(北海学園大学)		44	1983	p1～24
角田史幸	若きヘーゲルの思索ー近代への反省と批判	論集(一般教育)(桜美林短期大学)		10	1983	p95～110
門倉正美	ヘーゲルにおける＜知覚の現象学＞ー知覚の＜優位性＞と＜行為性＞	山口大学教養部紀要(人文科学篇)		17	1983	p35～50
加藤尚武	死によって否定される人間の存在とは何か	『西洋における生と死の思想』(有斐閣)			1983	p186～199
川田俊昭	アジア概念、ヘーゲル『精神現象学』に拠って1	長崎大学東南アジア研究所研究年報		24･25	1983	p37～52
菊地恵善	意識の経験の可能性について	哲学(日本哲学会)		33	1983	p159～169
北川浩治	『精神現象学』に於ける自己意識の構造についてー行為と言語に関する一考察	熊本大学教養部紀要人文･社会科学編		18	1983	p83～65
金城透	ヘーゲルの自然法批判について	大学院研究年報(中央大学)		12･I-1	1983	p63～75

工藤豊	初期ヘーゲルの宗教観	仏教経済研究		12	1983	p109～134
隈元泰弘	『精神現象学』における縦と横の相互承認	理想		605	1983	p188～197
隈元泰弘	ヘーゲルにおける「服従の訓練」の教育的意義	教育哲学研究		47	1983	p46～60
粂康弘	ヘーゲル弁証法および哲学一般の批判－哲学の現実と哲学の止揚	名城商学		32別冊	1983	p86～57
栗原隆	犠牲と承認－ヘーゲルの人倫的共同論とその破綻	思索		16	1983	p119～138
黒崎政男	イエナ期ヘーゲルのカント解釈	論集（東京大学哲学研究室）		2	1983	p181～94
上妻精	精神現象学の理念	理想		605	1983	p34～55
上妻精	意識の世界性について－ヘーゲルにおける弁証法的思惟の基盤	理想		601	1983	p107～125
小林保則	ヘーゲル『精神現象学』における哲学の端初の問題	倫理学年報		32	1983	p85～97
小林靖昌	ヘーゲルにおける経済社会の倫理	岐阜大学教育学部研究報告　人文科学		31	1983	p27～53
佐々木宗夫	意識の「あること」と「知ること」－ヘーゲルの経験論	倫理学年報		32	1983	p99～111
笹澤豊	『精神現象学』と目的論	理想		605	1983	p126～140
笹澤豊	ヘーゲルにおける「神の死」と和解－『精神現象学』以前の刑罰論に即して	倫理学年報		32	1983	p69～84
澤味進	ヘーゲルにおける抽象的普遍に対する個別性の擁護	比較思想の途 / 筑波大学比較思想ｺﾛｷｳﾑ		2	1983	p38～39
柴田隆行	ヘーゲルにおける生命態の観念論について	東洋大学工学部教養過程研究報告		19	1983	p77～83
柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む1－市民社会の構造	東京経大学会誌		132	1983	p280～240
柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む2－人倫の喪失態	東京経大学会誌（依光良馨教授退任記念号）		133	1983	p398～346
寿福真美	相互承認と物象化(3)－ 初期ヘーゲルの社会理論	社会労働研究	30	1･2	1983	p69～99
末吉康幸	『精神現象学』に於ける存在への問いの展開	哲学論文集		19	1983	p47～64

杉田正樹	思弁的命題と意識の事実	理想		605	1983	p167～176
高橋昭二	若きヘーゲルにおける媒介の思想6	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		12	1983	p1～36
高山守	思惟の個別性について－『精神現象学』における「自己意識」をめぐって	アカデミア人文・社会科学編（南山大学）		37	1983	p1～12
高田純	ヘーゲルの陶冶論－主体の社会的形成をめぐって	社会思想史研究		7	1983	p140～155
滝口清栄	人倫論の転回と市民社会－ヘーゲル「人倫の体系」をめぐって	哲学年誌（法政大学大学院哲学専攻）		15	1983	p85～102
竹村喜一郎	ヘーゲル論理学における〈否定〉の原理	哲学・思想論集		9	1983	p99～123
竹村喜一郎	哲学的問題構制の転成	理想		605	1983	p141～153
多田茂	近代的反省における実在性の基礎付けの問題	哲学年誌（法政大学大学院哲学専攻）		15	1983	p103～122
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』の「理性」研究	大阪教育大学紀要 Ⅰ人文科学	31	2･3	1983	p63～70
峠尚武	ヘーゲル論理学における始元としての存在批判の諸形式	長野県立短期大学紀要		38	1983	p43～51
栃原敏房	ヘーゲルにおけるデカルトと近代の問題について	精神科学		22	1983	p9～105
豊泉周治	イエナ期ヘーゲルにおける「主観性」の問題	哲学（日本哲学会）		33	1983	p148～158
中埜肇・城塚登	対談：ヘーゲル『精神現象学』をめぐって	理想		605	1983	p2～33
中山愈	ヘーゲルにおける精神＝実体＝主体	広島女子大学文学部紀要		18	1983	p63～70
中西毅	ヘーゲルの『シュテンデ論』とF・リスト(上)	経済学研究（立教大学）	37	2	1983	p149～170
中西毅	ヘーゲルの『シュテンデ論』とF・リスト(下)	経済学研究（立教大学）	37	4	1983	p127～153
西憲二	青年ヘーゲルにおける自由と秩序－「ドイツ憲法論」を中心に	経済科学（水田洋教授退官記念号）	30	3	1983	p159～181

原田哲史	初期ヘーゲルの宗教論ーテュービンゲン時代の論稿を中心に(水田洋教授退官記念号)	経済科学	30	3	1983	p201～211
引田隆也	ウェーバーとヘーゲルー労働と物象化をめぐって	理想		598	1983	p46～60
氷見潔	労働者イエス？ー労働疎外問題の源泉としてのヘーゲルの啓示宗教論	奈良県立短期大学研究季報	31	１２３	1983	p383～409
平石隆敏	ヘーゲル青年期における宗教そして国家ー歴史をめぐる思惟の展開について	実践哲学研究（京都大学文学部倫理学研究室内実践哲学研究会）		6	1983	p15～30
藤田正勝	ヘーゲルにおけるカント実践哲学の受容	哲学（日本哲学会）		33	1983	p126～136
藤田正勝	自由と美、あるいは生ーフランクフルト期ヘーゲルの思想展開	宗教研究	57	1	1983	p27～54
藤田俊治	ヘーゲル『論理の学』と『判断力批判』ー具体的普遍の論理	白山哲学		17	1983	p113～132
船盛茂	『精神現象学』における観察的理性について	美作女子大学美作女子短期大学部紀要		28	1983	p1～9
星野勉	「良心」論の意味するものー『精神現象学』における「良心」をめぐって	理想		605	1983	p177～187
増成隆	ヘーゲル美学の論証構造ー経験と理論	東京大学美学藝術研究室編『今道友信教授還暦記念　美学史論叢』（：草書房刊）			1983	p282～297
松井良和	否定命題と否定判断	愛知県立大学文学部論集		33	1983	p1～4
松本正男	一つのテーゼー『精神現象学』の「経験」概念	理想		605	1983	p105～115
三島淑臣	ヘーゲルの社会契約説―イエナ期諸論稿をてがかりとして(社会契約論)	法哲学年報		1983年版	1983	p49～72
三橋浩	W・ジェイムズのヘーゲル観	大阪産業大学論集（人文科学篇）		54	1983	p27～39

森川孝吉	イエナ期ヘーゲルにおける承認論の形成－フィヒテとの対決において	一橋研究（一橋大学大学院）	8	1	1983	p92～106
森田郁男	教育者としてのヘーゲル	東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学		34	1983	p15～41
山崎庸佑	歴史的行為の分析－作用連関と相互承認	九州大学哲学研究室編『行為の構造』（ 草書房）			1983	p168～191
山口祐弘	ヘーゲルにおける矛盾概念の形成	東京理科大学紀要・教養篇		15	1983	p77～102
山口貞明	主体性と社会的統合－ヘーゲル法哲学における特殊態の問題 下	哲学（三田哲学会）		76	1983	p53～74
山口誠一	ヘーゲルの懐疑的方法について	理想		605	1983	p154～166
山崎純	精神としての神の顕現－対象性克服の最終段階としての聖餐	理想		605	1983	p96～104
山内廣隆	イエナ期ヘーゲルの主観性の形而上学	哲学（日本哲学会）		33	1983	p137～147
山村直資	愛のエクスタシス構造－一つの試論	法政大学教養部紀要		46	1983	p15～33
嘉吉純夫	ソクラテス裁判に関する一考察－ヘーゲルのSchicksal des Sokratesをてがかりとし	精神科学		22	1983	p185～201
吉沢伝三郎	『精神現象学』の本文の或る訂正について	理想		603	1983	p141～143
吉田六弥	ヘーゲルの習慣論－感覚と感情	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		11	1983	p1～28
吉田明	ヘーゲル『精神現象学』における理性、精神、法	哲学論叢（京都大学哲学論叢刊行会）		10	1983	p53～62
米永政彦	ヘーゲルにおける「転倒した世界」下	人文学科論集（鹿児島大学文学部）		19	1983	p1～24
青山政雄	テロルとヘーゲルの哲学問題(続)	静岡女子短期大学研究紀要		31	1984	p53～35

尼寺義弘	Hegels Theorie vom Urteil und Marx's Theorie von der Wertform	阪南論集（社会科学篇）	17	2	1984	p55～79
池田成一	ヘーゲル『精神現象学』に於ける歴史と「理論—実践」問題	倫理学年報		33	1984	p35～51
伊藤結城夫	ヘーゲル哲学に於ける反省と存在構造－ヘーゲル論理学の考察	函館大学論究		17	1984	p31～53
岩瀬充自	W･シュルツ『ヘーゲル哲学体系における自己意識の問題』	法経紀要（三重短期大学）		65	1984	p25～40
岩淵剛	ヘーゲル人倫論の研究(その2)	岡崎女子短期大学研究報告		17	1984	p1～9
岩城見一	転換期の美学　ヘーゲル学派の研究	京都市立芸術大学武術学部研究紀要		29	1984	p16～34
岩佐茂	ヘーゲルの「神的三角形」について	一橋論叢	91	2	1984	p92～108
太田直道	ヘーゲルのカント批判3－カント、フィヒテ、ヘーゲルにおける自己意識	宮城教育大学紀要　1分冊　人文科学・社会科学		19	1984	p325～305
荻野象三	ヘーゲルにおける思索の地平5	近畿大学教養部研究紀要	15	3	1984	p185～194
梶原善次	ヘーゲルの悲劇思想	北海道女子短期大学研究紀要		18	1984	p9～15
加藤恒男	ヘーゲルの学の理念に関するノート	中京女子短期大学紀要		18	1984	p185～193
加藤静夫	ヘーゲル『法の哲学』における人格概念とその構成	中京大学教養論叢	24	4	1984	p1036～1008
加藤尚武	ヘーゲル哲学と近代社会の規範原理	書斎の窓（有斐閣）		332	1984	p26～34
加藤尚武	空と弁証法－「ヘーゲル懐疑主義論文」をめぐって	理想		610	1984	p267～275
川田俊昭	アジア概念、ヘーゲル『精神現象学』に拠って1－補遺：科学哲学批判	長崎大学東南アジア研究所研究年報		26	1984	p17～35
川戸好武	『初期神学論集』におけるヘーゲルのキリスト教批判1－「民族宗教とキリスト教」について	キリスト教学		26	1984	p1～22
菊地恵善	否定性と絶対的反省	論集（東京大学哲学研究室）		2	1984	p66～80

木村博	ヘーゲルの判断論に関する一考察	哲学年誌（法政大学大学院哲学専攻）		16	1984	p17～52
木村博	イエナ初期ヘーゲルにおける推論について一分裂の克服という課題をめぐって一	法政大学大学院紀要		13	1984	p11～20
釘貫和則	ヘーゲルの判断論	千里山文学論集（関西大学大学院文学研究科）		31	1984	p180～151
工藤豊	ヘーゲルに於ける愛と宗教－『キリスト教の精神しその運命』に於ける宗教の形成	仏教経済研究		13	1984	p117～137
栗原隆	連環と循環	愛知創刊号			1984	p66～76
栗原隆	意識と循環	関西哲学会紀要		18	1984	p1～6
訓覇嘩雄	知と信－カントの場合とヘーゲルの場合	哲学論集（大谷大学哲学会）		31	1984	p1～15
黒崎政男	イエナ期ヘーゲルのカント解釈	論集（東京大学哲学研究室）		2	1984	p181～194
桑田礼彰	反対物の統一としての『ヘーゲルかスピノザか』	駒沢大学外国語部論集		20	1984	p115～134
小林道徳	真理論への覚え書き－ハイデッガーとヘーゲルの真理概念を通して	福井大学教育学部紀要第1部 人文科学		34 哲学	1984	p1～11
酒井修	1801年夏のヘーゲル(「イエーナ時代の論理学」研究2	哲学研究	47	8	1984	p1137～1199
相良謙一	『精神の現象学』における「意識」に関する試論	哲学論文集		20	1984	p105～110
座小田豊	絶対無と無限性－イェナ初期ヘーゲルにおける「絶対的なもの」をめぐる問題について	文化紀要（弘前大学教養部）		19	1984	p1～34
笹澤豊	カントの自由論とヘーゲルの思惟	哲学・思想論集		10	1984	p63～87
佐々木孝次	ヘーゲルの言語観	現代思想	12	4	1984	p242～259
佐藤康邦	ヘーゲルにおける「目的論」について〔独文〕	東洋大学紀要 教養課程編		23	1984	p95～101
柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む5－国家の理念とその態様2	東京経済大学会誌		138	1984	p268～234
柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む4－国家の理念とその態様1	東京経済大学会誌		137	1984	p502～463

柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む3－ヘーゲル市民社会論の特色	東京経済大学会誌		136	1984	p298～252
柴田隆行	特殊態としての美ーヘーゲル美学と言葉	白山哲学		18	1984	p113～128
柴田隆行	ヘーゲル法哲学における共同体構想	東洋大学大学院紀要		21	1984	p33～45
杉田正樹	合理主義思想と懐疑論	哲学雑誌	99	771	1984	p130～155
杉田正樹	他について	関東学院大学文学部紀要		43	1984	p57～68
平子義雄	抒情詩の成り立ちーゲーテの抒情詩とヘーゲルの美学	言語文化研究（大阪大学言語文化学部）		10	1984	p171～190
平子友長	ヘーゲル『精神現象学』における疎外論と物象化論1	経済学研究（北海道大学）	34	2	1984	p203～215
武田趙二郎	ヘーゲルにおける否定性の論理	文明研究所紀要（東海大学）		4	1984	p120～106
竹村喜一郎	初期ヘーゲルの思想的境位	哲学・思想論集		10	1984	p39～61
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』の「精神」研究	大阪教育大学紀要　Ⅰ人文科学	33	2	1984	p85～93
玉置全人	ヘーゲルの「意識律」	哲学と教育		32	1984	p13～25
峠尚武	ヘーゲル論理学における「学の始元」－ヴァーグナー論文をたどる	長野県立短期大学紀要		39	1984	p1～10
東城国裕	〈自己意識〉主題による変奏－ヘーゲル『精神現象学』「精神」章ノート	佐賀大学教養部研究紀要		16	1984	p1～34
中山愈	ヘーゲルにおける媒介の思想	哲学（広島哲学会）		36	1984	p41～55
中山愈	ヘーゲル哲学における緊張の問題	広島女子大学文学部紀要		19	1984	p59～71
長井和雄	ヘーゲルにおける教育学の論理－岡本明人氏の批判に答えつつ	教育哲学研究		50	1984	p16～33
長尾伸一	ヘーゲルにおける言語と労働	社会思想史研究		8	1984	p110～125
橋本信	ヘーゲルの「感性的確信」の総括をめぐって	唯物論		29	1984	p18～25
八田隆司	青年ヘーゲルにおける既成性と生	哲学（日本哲学会）		34	1984	p139～149
氷見潔	A・コジェーブのヘーゲル『精神現象学』解釈について	奈良県立短期大学研究季報	31	4	1984	p53～79

船盛茂	イェ―ナ時代におけるヘーゲルの国家論と哲学1	美作女子大学・美作女子大学短期大学部紀要		29	1984	p1～11
星野勉	自然から精神へ―ヘーゲルの「自己意識」論	倫理学紀要（東京大学倫理学研究室）		1	1984	p23～41
星敏雄	ヘーゲルの否定性	千葉大学教養部研究報告A		17上	1984	p35～63
星敏雄	ヘーゲルの客観的思考と自己意識	哲学（日本哲学会）		34	1984	p150～161
前田庸介	『精神現象学』の認識論(2)	東京都立商科短期大学研究紀要		12	1984	p43～58
三浦信一郎	ヘーゲルの音楽美学とベートーヴェン	帝塚山学院大学研究論集		19	1984	p59～74
森田郁男	ヘーゲルのBildungstheorie	東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学		35	1984	p11～35
山田忠彰	知覚の言語懐胎－ヘーゲルとヴィトゲンシュタイン	東洋大学紀要 教養過程編		23	1984	p1～11
山脇直司	前期シェリングと円熟期ヘーゲルにおける諸学問の哲学的基礎付けとその体系	東海大学紀要 文学部		41	1984	p112～94
吉田六弥	ヘーゲルのインテリゲンツ 表象と言葉	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		14	1984	p1～22
吉田茂芳	有と本質 ヘーゲル研究3	竜谷大学経済経営論集	24	2	1984	p67～75
青木茂	ヘーゲルのキリスト論1	東京女子大学紀要論集	35	2	1985	p31～60
伊坂青司	ヘーゲルの〈有機体〉論－ドイツ観念論における自然哲学の一断面	人文学研究所報（神奈川大学人文学研究所）		19	1985	p3～18
伊坂青司	ヘーゲルとドイツ初期ロマン主義	人文研究（神奈川大学人文学会）		91	1985	p71～100
石橋とし江	ヘーゲルの根拠論	法政大学大学院紀要		14	1985	p29～38

入江幸男	フィヒテとヘーゲルの他者論	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		15	1985	p1～23
岩崎稔	ヘーゲル「相互承認」論の予備考察－L・ジープ『実践哲学の原理としての承認』を中心に	早稲田政治公法研究（早稲田大学政治公法研究会）		17	1985	p163～183
岩波哲男	ヘーゲルにおける「神の死」をめぐって	文学研究科紀要（早稲田大学大学院文学研究科）		30	1985	p1～16
上村芳郎	超越論的直観について	論集（東京大学哲学研究室）		3	1985	p171～186
内田弘	精神の貨幣－初期マルクスにおける経済学とヘーゲル哲学との相同関係	専修経済学論集	19	2	1985	p123～167
海老澤善一	ヘーゲルの教育活動	愛知大学文学部論叢		78	1985	p1～48
海老沢善一	ヘーゲル論理学研究7－「ギムナジウム論理学」における論理学の基礎づけ問題	愛知大学文学部論叢		79	1985	p1～83
	ヘーゲル「媒介」論の成立1	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		16	1985	p155～171
太田信二	ヘーゲルにおける思惟の論理とその論理体系内の位置づけをめぐって	一橋論叢	94	2	1985	p244～263
岡本裕一郎	『精神の現象学』の最初の構想と構成問題	哲学年報		44	1985	p73～101
小坂田英之	真理問題とヘーゲルの「目的論」－「実践哲学」への試論	宇都宮大学教養部研究報告　第一部		18	1985	p157～181
越智保則	市民社会と国家－マルクスからヘーゲルへ	福岡教育大学紀要　第2部　社会科編		35	1985	p1～15
鹿島徹	哲学の登場について－イエナ初期ヘーゲルの思索の歩みの一局面	フィロソフィア		73	1985	p129～144

加藤静夫	ヘーゲル『精神現象学』における〈疎外(Entfremdung)〉概念	中京大学教養論叢	26	2	1985	p328～303
金谷佳一	若きヘーゲルの思索における「経済的なるもの」－「神の国」と「所有の運命」	成　論叢（成中・高等学校編）		24	1985	p42～67
金子武蔵	ヘーゲルの初っ講義をめぐって	日本学士院紀要	41	1	1985	p1～81
神尾孝	ヘーゲルの〈理性批判〉の意義	日本福祉大学研究紀要		64	1985	p161～184
川田俊昭	アジア概念、ヘーゲル『精神現象学』に拠って2－カント、ヘーゲル、フッサール	長崎大学東南アジア研究所研究年報		27	1985	p13～47
神田順司	ヘーゲルとブルシェンシャフト	教養論集（慶応大学法学部）		69	1985	p249～276
北沢恒人	シェリングとヘーゲルの共同作業の端初	哲学（日本哲学会）		35	1985	p173～183
木村博	『イエナ体系草稿I、IIIにおけるMitteの意義について－精神の自己関係態の概念把握のために	法政大学大学院紀要		14	1985	p57～70
釘貫和則	ヘーゲルの概念論における概念の諸規定について	千里山文学論集（関西大学大学院文学研究科）		33	1985	p157～136
久保陽一	ヘーゲル「ユダヤ精神」の成立－ノール版の問題 1	駒沢大学文学部研究紀要		43	1985	p60～88
隈元泰弘	ヘーゲルにおける善と良心－『精神現象学』における「道徳性」をめぐって	梅花女史大学文学部紀要　人文・社会・自然科学		20	1985	p23～44
訓覇曄雄	知と信－カントの場合とヘーゲルの場合	哲学論集（大谷大学哲学会）		31	1985	p1～15
上妻精	ヘーゲルのヤコービ批判－「信仰と知」に即して	思索		18	1985	p1～25
小林俊太	同一性と矛盾の命題－ヘーゲル反省規定論研究	法政大学大学院紀要		14	1985	p39～58
斎藤純一	近代自然法批判と実践哲学の構想(2)－ヘーゲル「自然法」論文の研究	早稲田政治公法研究（早稲田大学政治公法研究会）		17	1985	p131～162

佐野之人	ヘーゲル『大論理学』「元初論」研究－AB両版の比較検討を通じて	哲学論叢（京都大学哲学論叢刊行会）		12	1985	p45～54
柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む6完－(1)ヘーゲル国家論の特色	東京経大学会誌		143	1985	p246～193
島崎隆	弁証法と形式論理学－数学的論理学の本質と限界を中心にして	一橋論叢	93	2	1985	p133～152
寿福真美	相互承認と物象化(4)－初期ヘーゲルの社会理論	社会労働研究	32	1	1985	p1～26
高山守	ヘーゲルの闘争論－人格概念の形成理論として	哲学（日本哲学会）		35	1985	p184～195
竹村喜一郎	ヘーゲル自我論の方位	哲学・思想論集		11	1985	p35～56
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』の「宗教」研究	大阪教育大学紀要　Ⅰ人文科学	34	2	1985	p81～90
鼓澄治	ヘーゲル『論理学(第1版、第2版)』における元初（Anfang)の問題	哲学論叢（京都大学哲学論叢刊行会）		12	1985	p33～44
飛田 満	「現象知の叙述」と学の実現 －ヘーゲル『精神の現象学』の方法論に関する一考察	比較思想の途 / 筑波大学比較思想コロキウム		4	1985	p34～43
豊田剛	ヘーゲル「法の哲学」における意志概念について	倫理学研究		15	1985	p63～75
鳥谷部平四郎	ドイツ観念論に於ける自我1－カント・フィヒテ・ヘーゲルの自我論	独協大学ドイツ学研究		14	1985	p31～45
中山愈	ヘーゲル思想における有限性の考察	広島女子大学文学部紀要		20	1985	p35～48
長島隆	初期ヘーゲルにおける「国民宗教」と「古代共和国」の理想	倫理学年報		34	1985	p57～72
南条文雄	イエナ期ヘーゲルの>Entauserung<概念の位相－ルソーとの関係を中心として	倫理学年報		34	1985	p73～89
南条文雄	イエナ期における「宗教」の問題	倫理学紀要（東京大学倫理学研究室）		2	1985	p35～56
西憲二	ドイツ啓蒙思想からヘーゲルへ－カントとヘーゲルの対比から	経済科学	32	3	1985	p1～28
橋本信	ヘーゲルの市民社会論と現実的人間把握	唯物論研究年報		1985年版	1985	p142～157
早坂忠彬	『精神現象学』における自己意識と相互承認	山形女子短期大学紀要		17	1985	p83～97

平石隆敏	個と共同体との和解は可能であるのか	倫理学研究（関西倫理学会）		15	1985	p76～88
星敏雄	ヘーゲルの絶対者	千葉大学教養部研究報告 A		18 下	1985	p21～48
星敏雄	因果性と客観性ーヒューム・カントより見たヘーゲル	法政大学教養部紀要		54	1985	p109～128
細谷実	社会の統一性の水準と社会批判	倫理学紀要（東京大学倫理学研究室）		2	1985	p57～76
細谷実	ヘーゲルにおける「目的」について	倫理学年報		34	1985	p39～55
本間英世	ヘーゲルの近代国家観	上智大学ドイツ語圏文化研究所		2	1985	p1～26
松富弘志	イルティングのヘーゲル論	法経論叢（静岡大学法経短期大学部）		54 55	1985	p1～49
森田郁男	ヘーゲル哲学に於ける衝動と意志1	東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学		36	1985	p13～24
安井郁夫	知の自己還帰性と歴史性	『新岩波講座哲学2』			1985	p249～280
山口誠一	『精神の現象学』の問い	哲学誌		27	1985	p1～21
山下泰子	弁証法的教育学における「陶冶」概念の理解	徳島大学学芸紀要 教育科学		34	1985	p1～10
米永政彦	『精神現象学』における啓蒙の弁証法	人文科学論集（鹿児島大学法文学部）		21	1985	p1～23
筏津安恕	ヘーゲルのイェーナ期実践哲学ーL. ジープの検討を通じて	法哲学年報			1986	p42～60
石橋とし江	ヘーゲルにおける否定の考察ーヘーゲル観念論の基盤	法政大学大学院紀要		16	1986	p25～40
市川英夫	ヘーゲル差異論文における理性概念の形式と体系哲学	哲学論集（上智大学哲学会）		15	1986	p23～33
伊東道生	記号と象徴	哲学論叢（大阪大学文学部）		17	1986	p43～60
今泉元司	若きヘーゲルに於ける「生」Lebenの概念	愛媛大学法文学部論集文学科編		19	1986	p63～89

入江重吉	ヘーゲル『論理学』における「善の理念」について	松山商大論集	37	5	1986	p107～125
海老沢善一	ヘーゲル論理学の区分について	愛知大学文学論叢		82･83	1986	p1～18
大西正人	ヘーゲル『精神現象学』の方法論ー『精神現象学』緒論解明	哲学誌		28	1986	p129～159
太田直道	ヘーゲルのカント批判4ーカントとヘーゲルにおける客観性の問題1	宮城教育大学紀要（人文科学・社会科学）		21	1986	p208～191
大橋良介	西田哲学における一即多ーヘーゲル哲学との対比	辻村公一編『一即多』創文社			1986	p163～180
岡本裕一朗	ヘーゲル『論理学』における「反省」の構造	哲学年報		45	1986	p183～213
加藤恒男	ヘーゲル『精神現象学』における身体理解	中京女子大学紀要		20	1986	p19～25
加藤尚武	法における身心問題	現代思想	14	6	1986	p182～192
菊地恵善	ヘーゲル『精神現象学』における言語の問題	哲学雑誌	773	101	1986	p175～197
菊地陽次郎	初期デューイにおける新ヘーゲル主義についてー存在論的立場と心理的立場	日本デューイ学会紀要		27	1986	p1～6
木村博	『自然法論文』における二元論の問題についてーヘーゲル人倫論へのアプローチのために	法政大学大学院紀要		16	1986	p1～10
工藤豊	初期ヘーゲルにおける共同体観の変遷ーGemeindeからSittlichkeitへの展開	仏教経済研究		15	1986	p235～258
久保陽一	初期ヘーゲル断片(Nr.80　81)校訂案（ノール版の問題2）	駒沢大学文学部研究紀要		44	1986	p136～168
久保田肇	ヘーゲル論理学における反省について	東洋大学大学院紀要		23	1986	p1～12
栗原隆	関係と超出ーヘーゲルの思想形成とラインホルト	理想		632	1986	p114～125
黒瀬勉	ヘーゲルのフィヒテ批判ー国家と社会の区別をめぐって	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		17	1986	p61～81
小池直人	ヘーゲルの〈固体性の表明〉概念ー『精神現象学』の基本問題	日本福祉大学研究紀要		68	1986	p180～159
小林俊太	概念の同一性と根源的分割ーヘーゲルの判断論	哲学年誌（法政大学大学院哲学専攻）		18	1986	p15～36

小林靖昌	ヘーゲルにおける法律社会の倫理	岐阜大学教育学部研究報告　人文科学		34	1986	p65～93
斎藤純一	ヘーゲル『人倫の体系』の研究(1)	早稲田政治公法研究（早稲田大学政治公法研究会）		18	1986	p97～135
斎藤美巳	ハイデガーのヘーゲル解釈によせてー弁証法と否定性をめぐって	思索		19	1986	p35～53
澤味進	ヘーゲルのフランクフルト期における反省概念について	哲学思想論叢		4	1986	p49～57
柴田高好	ヘーゲル『法哲学』を読む6完ー(2)ヘーゲル国家論の特色	東京経済大学会誌		146	1986	p776～729
柴田隆行	哲学史の成立とその意味	国学院雑誌	87	6	1986	p54～64
菅井大果	ヘーゲルのキリスト論	立命館大学		493 ～495	1986	p556～580
鈴木伸一	フォイエルバッハのヘーゲル批判ー「ヘーゲル哲学批判のために」における〈初端〉の問題	文学部論叢		18	1986	p43～69
鈴木 伸一	ﾌｫｲｴﾙﾊﾞｯﾊのヘーゲル批判 ー「ヘーゲル哲学批判のために」における<初端>の問題	文学部論叢 / 熊本大学文学会		18	1986	p43～69
副田満輝	疎外の論理と弁証法ーヘーゲルにおける弁証法の成立によせて	経済学研究（九州大学経済学会）	52	1 ～4	1986	p333～354
高橋良	若きヘーゲルの承認理論における労働と言語	法政大学大学院紀要		16	1986	p157～172
武田一博	ヘーゲルにおける価値判断の真理性について	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		17	1986	p23～42
多田茂	ヘーゲルにおける青年時代の理想と哲学的反省	法政大学大学院紀要		16	1986	p11～24
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』の「絶対知」研究	大阪教育大学紀要　Ⅰ人文科学	35	2	1986	p207～217
田端信廣	ヘーゲルのイエナ倫理学における〈認識〉の概念	文化学年報		35	1986	p1～21
辻村公一	思弁的聖金曜日ーヘーゲル的思索の実存的根源	実存思想協会編『実存の根源ー実存思想論集Ⅰ』（以文社）			1986	p9～26

寺沢恒信	ヘーゲル哲学の方法と体系	唯物論研究年報		1986年版	1986	p9～32
高田純	道徳と市民社会	倫理学年報		35	1986	p69～85
徳増多加志	「意識の経験の学」における学の成立の意味	哲学誌		28	1986	p111～128
徳永恂	家族と国家－ヘーゲルとフランクフルト学派	『新岩波講座・哲学11・歴史』			1986	p150～182
栃原敏房	ヘーゲル哲学形成の根底	精神科学		25	1986	p85～105
中島章利	ヘーゲル美学とマルクス主義美学における芸術的創造過程の把握	唯物論		31	1986	p42～54
中山愈	ヘーゲルの実存思想	広島女子大学文学部紀要		21	1986	p118～105
中山愈	ヘーゲルの福祉哲学	広島女子大学文学部紀要		22	1986	p114～93
速川治郎	フリースとヘーゲル	フィロソフィア		74	1986	p31～47
原崎道彦	ヘーゲルの「無限性」概念の展開－『差異』論文から「人倫の体系」まで	思索		19	1986	p55～75
原田正行	ヘーゲルの反省論	高知学園短期大学紀要		18	1986	p371～389
藤田正勝	ヘルダーリンとヘーゲル	創文		268	1986	p9～12
別所良美	ヘーゲル初期神学論文における支配の批判	名城大学人文紀要		36	1986	p21～37
松田賀孝	ヘーゲルは保守主義者か、民族主義者か	琉球大学経済研究		32	1986	p51～79
水野建雄	ヘーゲル『法哲学』の生成と理念序－イルティング・テーゼとその批判	哲学・思想論集		12	1986	p19～39
森田郁男	ヘーゲル哲学に於ける衝動と意志2	東京学芸大学紀要　第2部門　人文科学		37	1986	p13～25
山田忠彰	理性の復権－ヘーゲルにおける悟性=理性問題1	東洋大学紀要（教養課程編）		25	1986	p344～333
山口誠一	ヘーゲルの初期宗教草稿の再検討－「絶対精神」の原形への接近	創文		268	1986	p13～16
山口誠一	ヘーゲルの「現象」の問題について	法政大学教養部紀要		58	1986	p95～116
山口祐弘	アンチノミー論の思弁的再編－ヘーゲルにおけるカント摂取	東京理科大学紀要		18	1986	p77～103

渡辺二郎	「良心」Gewissenの問題ー特にハイデッガーとヘーゲルに即して	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1986	p159～201
筏津安恕	ヘーゲルのイェーナ期実践哲学	法哲学年報			1986 1985	p42～60
安彦一恵	ヘーゲルの近代論ー現実との和解の哲学	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p227～245
荒木正見	「自己意識」の分析ー端緒的試論	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p135～158
荒木正見	ヘーゲル弁証法の基底ー「現象学的反省」の意義	梅光女学院大学論集		20	1987	p63～73
飯倉行雄	ヘーゲル哲学とマルキシズムにおける自由の基礎構造	商経学会誌(日本文理大学商経学会)	6	1	1987	p1～29
伊坂青司	物質はいかにして精神を生み出すか	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p232～242
伊坂青司	歴史・民族・理性ーヘーゲルとドイツロマン主義の分岐点	神奈川大学人文学研究叢書		4	1987	p5～36
伊坂青司	ゲーテとヘーゲルーイェーナにおける出会いと交流	モルフォロギア		9	1987	p38～49
石神豊	ヘーゲル社会哲学の生成ー所有の問題をめぐって	Sociologica	11	2	1987	p53～70
石川伊織	『精神現象学』における人倫と悲劇の関係について	法政大学大学院紀要		18	1987	p13～26
石戸谷 信	「実定性」をめぐる青年期ヘーゲルの国家像と自由の問題について ー ベルン期を中心 に	倫理学 / 筑波大学倫理学原論研究会		5	1987	p115～126
稲葉三千男	ヘーゲルの『精神現象学』、とくにその中の人相術と頭蓋論に触発されたささやかなコミュニケーション論	東京大学新聞研究所紀要		36	1987	p1～17
稲福日出夫	ヘーゲル「法哲学」に関する2・3の覚え書き	沖縄法学		15	1987	p57～79
井上周八	ヘーゲル、フォイエルバッハ、マルクス	立教経済研究	41	2	1987	p45～80

岩城見一	歴史における美の理念－ヘーゲルの美学	太田喬夫・岩城見一・米澤有恒編『美・芸術・真理』（昭和堂刊）			1987	p65～102
岩崎稔	想起をめぐるあるトポス－ヴィーコとヘーゲル	思想		752	1987	p233～255
岩崎稔	近代化の批判的自己確証と道徳・人倫の問題－ヘーゲルとハーバーマス	藤原保信編『ハーバマスと現代』 新評論			1987	p232～254
上村芳郎	心の魔術的な関係－動物磁気・狂気・身体	加藤尚武編『ヘーゲル読本』（法政大学出版局）			1987	p166～174
上村芳郎	イェナ期ヘーゲルの推理論	論集（東京大学文学部哲学研究室編）		5	1987	p109～118
海老澤善一	弁証法とはどのような論理か	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』（理想社）			1987	p51～69
海老澤善一	ヘーゲル弁証法についての暫定的テーゼ	愛知大学文学論叢		84	1987	p1～13
大庭健	キリスト教の本質・三位一体	加藤尚武編『ヘーゲル読本』（法政大学出版局）			1987	p313～323
大西正人	ヘーゲル『精神現象学』における「物」の本質	哲学誌		29	1987	p27～56
大森彰人	ヘーゲルの人倫とカントの道徳の関係について	哲学（広島哲学会）		39	1987	p45～58
大薮敏宏	学の導入をめぐって－ヘーゲルの『学の体系』の構想変化をめぐる一考察	現代の意識（日本哲学研究所）		20	1987	
大田孝太郎	フランクフルト期のヘーゲル	広島経済大学研究論集	9	4	1987	p75～94
大畑雅弘	自己意識と承認－ヘーゲルにおける自己意識と同一性	倫理学研究（関西倫理学会）		17	1987	p53～61
岡本賢悟	ヘーゲル論理学の方法－「存在するもの」の思考から「生成」の思考へ	加藤尚武編『ヘーゲル読本』（法政大学出版局）			1987	p198～209
岡本裕一朗	『法の哲学』の論理と立憲君主制	哲学年報		46	1987	p73～104

奥谷浩一	形式論理学と弁証法	加藤尚編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p187～197
尾崎恭一	精神発達における自己意識の形成陶冶について－シュティルナーのヘーゲル受容	白山哲学(東洋大学文学部哲学研究室)		21	1987	p110～131
加藤尚武	ヘーゲル論理思想の背景－無限性をめぐって	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p11～30
門倉正美	ヘーゲルのニュートン批判	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大出版局)			1987	p210～220
門脇健	劇としての『精神現象学』－ヘーゲルの見た『ハムレット』	哲学研究	47	12	1987	p2199～2234
門脇健	ヘーゲルと『ハムレット』	宗教哲学研究(京都宗教哲学会)		4	1987	p69～83
菊地恵善	矛盾と否定	論集(東京大学文学部哲学研究室編)		5	1987	p62～82
菊地恵善	ギリシア精神とキリスト教	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p334～349
菊地恵善	アンチノミーと思弁的命題(I)	論集(東京大学文学部哲学研究室編)		6	1987	p22～36
工藤喜作	ヘーゲルとスピノザ	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p203～225
久保陽一	カント道徳哲学との対決	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p77～86
久保陽一	初期ヘーゲルの存在思想	哲学雑誌	102	774	1987	p63～83
Yasuhiro Kumamoto	Die methodologische Funktion des Verh昇tnisses von Herr und Knecht in der Philosophie Hegels	梅花女子大学文学部紀要(人文・社会・自然科学)		22	1987	p15～36

栗原隆	訣別と克服－時代に対するヘーゲルの哲学的批判とその論理	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p103～112
栗原隆	端緒と実体－失われたヘーゲルの「ヘルダー批評」をめぐって	神戸大学文化学年報		6	1987	p189～218
黒崎政男	思考における言語の役割	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p158～165
小泉義之	善なる行為と善なる存在	論集(東京大学哲学研究室)		5	1987	p119～130
上妻精	意識の世界性について	加藤尚武『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p48～51
幸津國生	ニュルンベルク時代ギムナジウム講義に於けるヘーゲル論理学の客観性のクロノロギーに寄せて	倫理学年報		36	1987	p87～104
上妻精	ヘーゲルにおける絶対知について	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p89～111
斎藤純一	イェーナ期ヘーゲルの政治哲学的課題	思想		762	1987	p96～117
笹澤豊	精神の成熟－ヘーゲルの「時間」概念をめぐって	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p247～273
笹澤豊	感覚・知覚・悟性	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p138～147
佐藤康邦	ヘーゲル法哲学を擁護して	理想		637	1987	p50～64
四日谷敬子	存在と反省－ヘーゲルの絶対的観念論への道	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p31～50
霜田求	ヘーゲル『精神現象学』における道徳性批判	倫理学研究(関西倫理学会)		17	1987	p41～52
白濱 好明	応報刑と目的刑 ― ヘーゲルの刑罰論とﾌﾟﾘﾓﾗｯｸ論文	倫理学 / 筑波大学倫理学原論研究会		5	1987	p127～137

菅野盾樹	哲学するということ―メルロ＝ポンティのヘーゲル理論	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p59～63
杉山吉弘	人間ヘーゲル－そのベルリン時代	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p35～46
杉田広和	ヘーゲルの「知覚」論－「反照」と「絡み合い」	法政大学教養部紀要		62	1987	p63～85
鈴木伸一	ヘーゲルの「自然法論文」とルソーの「社会契約論」	文学部論叢		22	1987	p15～49
鈴木 伸一	ヘーゲルの「自然法論文」とﾙｿｰの「社会契約論」	文学部論叢 / 熊本大学文学会		22	1987	p15～49
副田満輝	疎外の論理と弁証法－ヘーゲルにおける弁証法の成立によせて	経済学研究(九州大学経済学会)	52	1-4	1987	p333～354
高尾征治	ヘーゲルの『大論理学』を読んで	日本の科学者	22	6	1987	p341～346
高山守	ハイデッガーとヘーゲル	創文		277	1987	p5～8
高田純	ヘーゲルにおける承認論の発展〔独文〕	帯広畜産大学学術研究報告 第2部 人文・社会科学篇	7	2	1987	p499～542
高田純	歴史の構造	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p301～312
高山守	犯罪と刑罰	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p279～289
高山守	ヘーゲルにおける「存在」の問題	アカデミア 人文・社会科学編(南山大学)		46	1987	p1～24
滝口清栄	自然・労働・社会－精神の生成と存立	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p254～264
武田趙二郎	ヘーゲルにおける体系形成以前	東海大学沼津教養部紀要		15	1987	p1～12
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』「序文」研究	大阪教育大学紀要	36	2	1987	p69～80

田中保敏	感覚的確信の弁証法	一橋論叢	98	3	1987	p474～490
谷口孝男	ヘーゲル論理学批判序説1	北見工業大学研究報告	19	1	1987	p143～166
田端信廣	「総括された総体」から「単純な総体へ」ー『精神現象学』における経験の再構造化	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p71～88
千代島雅	弁証法的論理学の時間的構造	東京都立科学技術大学研究報告		1	1987	p243～247
土屋啓二	イエナ期のヘーゲルの承認論について	立命館文学		501	1987	p35～49
土屋敬二	承認と共同性ーヘーゲル	立命館文学		502	1987	p1118～1138
鶴田孝	ヘーゲルの『精神現象学』の理念を求めて	長崎県立国際経済大学論集	2	1	1987	p63～74
飛田満	「精神の現象学」における自己意識の概念をめぐって	哲学・思想論叢		5	1987	p63～74
豊福淳一	ヘーゲル承認論の成立	防衛大学校紀要・人文科学分冊		54	1987	p1～18
中山愈	ヘーゲルにおける実存のパトス	実存思想協会編『実存のパトスー実存思想論集Ⅱ』(以文社)			1987	p49～66
中埜肇	ヘーゲルと現代ー解釈学的考察	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p275～291
長島隆	自然と歴史ーシェリング自然哲学の歴史哲学的機能ー	社会思想史研究		11	1987	p107～121
西部邁・加藤尚武	人間と国家と歴史(対談)	加藤尚武『ヘーゲル読本』(理想社)			1987	p1～34
八田隆司	ヘーゲルとルカーチーその歴史観をめぐって	世界文学		65	1987	p68～76
八田隆司	自己意識における反照構造ー『精神現象学』の「主人—奴隷」関係の成立をめぐって	明治大学教養論集		201	1987	p103～119
八田隆司	主人と奴隷の逆転	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(理想社)			1987	p148～157

服部健二	『エンチュクロペディー』における三つの推論	立命館文学		500	1987	p364～379
速川治郎	ヘーゲル『大論理学』批判 11	早稲田人文自然科学研究		32	1987	p17～54
原崎道彦	体系概念の成立－そのモチーフと構造	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p113～121
原崎道彦	ヘーゲル『精神現象学』試論－2－隠された構想	文化(東北大学文学会)	51	1・2	1987	p46～82
原崎道彦	もうひとつの体系－ヘーゲル『精神現象学』試論1	文化(東北大学文学会)	50	3･4	1987	p132～146
伴博	和辻哲郎とヘーゲル	『比較思想の世界』北樹出版			1987	p305～321
伴博	客観倫理の思想－ヘーゲルと和辻哲郎(〔比較思想学会〕研究例会発表要旨 昭和60年度第4回)	比較思想研究		13	1987	p129～132
平山茂樹	人間にとって国家とは何か－『法哲学』における自由な共同体	『ヘーゲル読本』(加藤尚武編)			1987	p290～300
平石隆敏	近代自然法理論とヘーゲルの批判	哲学論集(大谷大学哲学会)		33	1987	p56～67
藤田正勝	感覚から絶対知への精神の遍歴	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p122～135
藤田正勝	意識の歴史	中埜肇編『ヘーゲル哲学研究』(理想社)			1987	p113～134
船盛茂	ヘーゲル哲学におけるfur unsについて1 fur unsの使用状況と『精神現象学』におけるその解釈	美作女子大学・美作女子大学短期大学部紀要		32	1987	p1～11
星敏雄	「意識の立場」から「概念の立場」へ(Ⅰ)	工学院大学研究論叢		25	1987	p195～208
星敏雄	ヘーゲル哲学の基本的立場と視座	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p243～252
星野勉	自由・理性・歴史－ヘーゲル『初期神学論文集』をめぐって	明治学院論叢・総科学研究		29	1987	p27～47

星野勉	「市民社会」論	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p265～278
本多修郎	ヘーゲル自然哲学とシステム思考	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p52～58
増成隆士	絵画作品から見たヘーゲル美学	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p350～367
松田賀孝	ヘーゲルは保守主義者か　民族主義者か	琉球大学経済研究		32	1987	p51～79
松本正男	時間・空間・エーテル	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p221～231
松本正男	ヘーゲルの空間・時間論	山口大学人文会誌		38	1987	p129～150
水野 建雄	ヘーゲル『法哲学』の生成と理念(序) ― ｲﾙﾃｨﾝｸﾞ･ﾃｰｾﾞとその批判	哲学･思想論集 / 筑波大学哲学･思想学系		12	1987	p19～39
宮下春三	弁証法論理学の序論	麻布大学教養部研究紀要		20	1987	p117～124
森田郁男	ヘーゲルに於ける道徳性と人倫性について1	東京学芸大学紀要　第2部門　人文科学		38	1987	p15～31
森　東吾	フェノロサにおけるスペンサーとヘーゲル	Lotus(日本フェノロサ学会)		7	1987	p14～30
山口誠一	『精神の現象学』における行為の否定性	法政大学教養部紀要		62	1987	p113～155
山口誠一	感情と精神－ヘーゲルの魂の友ヤコービ	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p324～333
山口祐弘	論理的知性とイデアリスムス	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p175～186
山崎純	世界の散文－ヘーゲルとメルロ＝ポンティ	文化と哲学(静岡大学哲学会刊)		6	1987	p28～50

山崎純	愛と運命の思索	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p66～76
吉沢伝三郎	ヘーゲルにおける欲望と自己意識の概念	人文学報(東京都立大学人文学会編)		188	1987	p3～8
吉田浩	ウェ―バーとヘーゲル－佐久間孝正氏の「ウェ―バーとマルクス」における所説を中心として	文化紀要(弘前大学教養部)		25	1987	p1～38
渡辺祐邦	ミネルヴァのふくろうはもう一度飛び立つ－シェリングとヘーゲルのフランス革命経験研究のための序説	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p87～102
渡辺二郎	ヘーゲル・ヤスパース・老子	『赤塚忠著作集』第4巻付録月報5(研文社)		5	1987	p6～8
渡辺祐邦	ミネルヴァのふくろうはもう一度飛び立つ シェリングとヘーゲルのフランス革命経験研究のための序説	加藤尚武編『ヘーゲル読本』(法政大学出版局)			1987	p87～102
荒木正見	「主人と下僕」の論理と「自己意識」	梅光女学院大学論集		21	1988	p59～69
飯倉行雄	ヘーゲル哲学とマルキシズムにおける自由の基礎構造	商経学会誌(日本文理大学)	6	2	1988	p1～26
筏津安恕	ヘーゲルのイェーナ前期論理学の法哲学的意義	法政論集(名古屋大学法学部)		119	1988	p289～338
池田善昭	モナドと「精神」―ライプニッツとヘーゲル	『ヘーゲル哲学の現在』(世界思想社)			1988	p34～46
伊坂青司	ヘーゲル『歴史哲学』の現代的解読	神奈川大学評論		3	1988	p46～56
石川伊織	ヘーゲル『精神現象学』の悲劇論における「自己(Selbst)」の概念	法政大学大学院紀要		20	1988	p19～34
石川求	「無限判断」と批判哲学	思索		21	1988	p45～66
伊東道生	歴史なき民族	待兼山論叢(大阪大学文学部)		22	1988	p1～12
伊藤結城夫	意識の経験と存在－ヘーゲル存在論の基礎的構造とその方法	函館大学論究		20	1988	p41～58
稲福日出夫	若きヘーゲルの社会思想	法政論集(名古屋大学法学部)		119	1988	p339～355

岩城見一	美と理念—ヘーゲル美学の完結性？	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p247～261
上原守夫	ヘーゲルの市民社会論	早稲田大学文学研究科紀要（同大学大学院）		14	1988	p1～10
海老澤善一	〈方法〉としての弁証法	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p192～202
遠藤均	ﾍｰｹﾞﾙの『歴史哲学』における仮説について	精神科学		27	1988	p61～71
大田孝太郎	イエーナ初期のヘーゲル—「媒介」概念の成立過程	広島経済大学研究論集	11	3	1988	p151～180
大森彰人	イエナ初期におけるヘーゲルの国家観について	哲学（広島哲学会）		40	1988	p17～30
岡崎英輔	ヘーゲルと解釈学—ディルタイとガーダマーを通してみた	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p97～111
小倉志祥	金子倫理学とヘーゲル研究	理想		638	1988	p16～17
尾崎和彦	ヘーゲルストレームの「主観主義」批判－「価値ニヒリズム」の認識論的前提の問題	明治大学教養論集		211	1988	p115～162
片柳栄一	哲学と宗教	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p262～275
加藤恒男	意志・人格・身体－ヘーゲル『法哲学』について	中京女子大学紀要		22	1988	p187～192
加藤尚武	ヘーゲル哲学の歴史的位置づけ	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p12～32
加藤尚武	純粋存在とエーテル	千葉大学人文研究		17	1988	p51～75
門脇健	無常或は無限性ということ－ヘーゲルの観たゴルゴダのハムレット	宗教研究（京都宗教哲学会）	62	2	1988	p151～173
金子武蔵	ヘーゲルのテュビンゲン手記－民の宗教について	日本学士院紀要	43	2	1988	p53～87
神山伸弘	ヘーゲルの『法の哲学』における国家生成の論理－「最初のもの」としての国家の現実的主体性について	一橋論叢	99	6	1988	p875～894

菊地恵善	アンチノミーと思弁的命題(Ⅱ)	論集(東京大学文学部哲学研究室)		7	1988	p29～45
木村博	イエナ期ヘーゲルにおける「懐疑主義」について	倫理学年報		37	1988	p93～105
木村博	1804/05年の『イェナ論理学』におけるErkennenの意義について	法政大学大学院紀要		20	1988	p59～66
釘貫和則	ヘーゲルの推理論	千里山文学論集(関西大学院文学研究科)		35	1988	p54～73
久保陽一	ヘーゲルにおける合一哲学の展開(1)	駒沢大学文学部紀要		46	1988	p1～26
久保陽一	啓蒙と宗教－カント、ヘルダー、ヘーゲル	『ヘーゲル哲学の現在』(世界思想社)			1988	p63～83
久保陽一	ヘーゲルにおける合一哲学の展開(2)	文化(駒沢大学文学部文化学教室)		11	1988	p132～89
栗原隆	哲学と哲学史	『ヘーゲル哲学の現在』(世界思想社)			1988	p145～158
小林靖昌	ヘーゲルにおける行政の倫理	岐阜大学教育学部研究報告(人文科学)		36	1988	p1～20
西郷大作	ヘーゲル『大論理学』における無限性の概念	哲学論文集		24	1988	p37～54
座小田豊	道徳性と人倫—〈実践哲学の復権〉とヘーゲル	『ヘーゲル哲学の現在』(世界思想社)			1988	p234～246
四日谷敬子	ヘーゲルとハイデッガー	『ヘーゲル哲学の現在』(世界思想社)			1988	p84～191
霜田求	ヘーゲル『法哲学』における道徳性批判	待兼山論叢(大阪大学文学部)		22	1988	p27～39
白濱 好明	死の贖いと死の刑罰 ― G.W.F. ヘーゲルにおける宗教哲学と法哲学の一連関	倫理学 / 筑波大学倫理学原論研究会		6	1988	p71～79

菅井大果	初期ヘーゲルの宗教論	立命館文学		506	1988	p525～552
杉田広和	ヘーゲル独自の Reflexion 概念の成立時期の遡及	哲学世界		11	1988	p83～96
高田純	ヘーゲルの相互承認論の形成と構造(1)	経済と経営	19	2	1988	p189～222
高橋義人	ヘーゲル『人倫の体系』における社会形成の論理	中央大学大学院研究年報	17	4	1988	p93～105
高山守	Untersuchung zu Hegels Begriff des Tuns－Wesenslehre und Dialektik im Falle der Praxis	アカデミア（南山大学）	47	1	1988	p33～52
高山守	「根拠」について－ﾄﾞｲﾂ近現代、とりわけﾍｰｹﾞﾙの根拠論をめぐって	東京大学教養学部人文科学科紀要		89	1988	p161～202
滝口清栄	イエナ期ヘーゲルの人倫構想－フィヒテ自然法批判を視軸として	倫理学年報		37	1988	p75～91
竹内良知	ヘーゲルと西田幾多郎のスピノザ批判について	思想		764	1988	p4～23
武田一博	ヘーゲルの人倫的世界における自然性の位置と意義	哲学論叢（大阪大学文学部哲学哲学史第二講座）		19	1988	p71～90
竹村喜一郎	ヘーゲル自然哲学の基本構制	哲学(日本哲学会)		38	1988	p154～166
田島正樹	ヘーゲルの鳥モチ	理想		638	1988	p101～110
田中芳美	ヘーゲル『精神現象学』の研究	大阪教育大学紀要（人文科学）	37	1	1988	p85～96
津田雅夫	疎外論再考－ヘーゲル研究ノート(1)	岐阜大学教養部研究報告		23	1988	p244～237
東城国裕	『フーガ』あるいは神なき世界から世界なき神への逃避―ヘーゲル『精神現象学』「宗教」章ノート	佐賀大学教養部研究紀要		20	1988	p1～31
戸田洋樹	自己と生命―ヘーゲル『精神現象学』に於ける「自己意識」の章	論叢（横浜市立大学）	39	2・3	1988	p81～105
豊福淳一	ヘーゲルにおける自己発展の三段階	防衛大学校人文紀要		56	1988	p1～13
中岡成文	意識・経験・自己意識	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p159～173
中島秀憲	若きヘーゲル、シェリング、ヘルダーリン－彼らの理想と現実	九州産業大学教養部紀要		24	1988	p79～103

中富清和	ベルクソンとメルロ＝ポンティの身体論	比較思想研究		14	1988	p70～77
中埜肇	ヘーゲルとわれわれ	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p3～10
中山愈	ヘーゲルの死生観	哲学（広島哲学会）		40	1988	p1～16
速川治郎	ヘーゲル『大論理学』批判(3)	早稲田社会科学研究		37（合併号早稲田人文自然科学研究34号）	1988	p209～253
速川治郎	ヘーゲル『大論理学』批判(2)	早稲田人文自然科学研究		33	1988	p33～52
原崎道彦	ヘーゲル『精神現象学』試論3－中断した計画	文化（東北大学文学会）	51	3･4	1988	p204～218
原崎道彦	フランクフルトのヘーゲル	思索（東北大学哲学研究会）		21	1988	p85～100
日暮雅夫	ヘーゲルの『精神現象学』における良心の問題	哲学世界		11	1988	p111～123
平石隆敏	〈承認〉の論理	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p221～233
平林 孝裕	ヘーゲルの『美学講義』とキルケゴール－『あれかこれか』における「悲劇論」を中心として	哲学･思想論叢 / 筑波大学哲学･思想学会		6	1988	p101～112
藤澤賢一郎	分析哲学と弁証法	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p203～220
船盛茂	ヘーゲル－SystementwurfeⅡにおける弁証法について	美作女子大学・美作女子大学短期大学紀要		33	1988	p1～9
星野勉	自由・理性・歴史(2)－ヘーゲル『初期神学論文集』をめぐって	明治学院論叢		424	1988	p27～43
松井良和	〈体系〉としての知	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p132～144

圓増治之	哲学に於ける「勇気」ーヘーゲル対ニーチェ	長野大学紀要	9	3	1988	p83～92
嶺秀樹	自我・自然・精神―フィヒテ、シェリング、ヘーゲル	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p47～81
森田侑男	ヘーゲルに於ける道徳性と人倫論について2	東京学芸大学紀要（人文科学）		39	1988	p19～35
安井邦夫	弁証法とイデールな構造	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p174～191
山口誠一	自己意識の現象	法政大学教養部紀要		66	1988	p1～27
山口　誠一	ヘーゲルのフィヒテ解釈寸描	法政哲学会『会報』		6	1988	p6～10
山口祐弘	フォイエルバッハにおける感覚的共同性ーヘーゲルからの脱却過程	思想		764	1988	p112～127
山口誠一	ヘーゲルのフイヒテ解釈寸描	法政哲学会『会報』		6	1988	p6～10
山崎純	ヘーゲルと現代フランス思想―コギトと他者	『ヘーゲル哲学の現在』（世界思想社）			1988	p112～130
山本淳	マルクスとフォイエルバッハ並びにヘーゲルとの関係に関するコメンタール(1)	雲省野（豊橋技術科学大学）		10	1988	p105～114
寄川条路	初期ヘーゲルにおける「美の理念」についてー「ドイツ観念論最古の体系計画」の研究	哲学世界		11	1988	p124～136
池田俊彦	ヘーゲル精神現象学における「自己」の問題	法政大学教養部紀要		70	1989	p1～25
伊坂青司	ヘーゲルとロマン的イロニー	神奈川大学言語研究		11	1989	p17～40
市川佳宏	民主主義と「類」概念ーマルクス『ヘーゲル国法論批判』の分析1	商学論集	57	4	1989	p25～39
伊藤一美	ヘーゲル『大論理学』研究序説	神奈川工科大学研究報告		13	1989	p1～9
伊藤結城夫	意識の経験と存在ーヘーゲル存在論の基礎的構造とその方法	函館大学論究		21	1989	p61～73
稲生勝	対象としての自然と主体としての自然ーﾍｰｹﾞﾙの自然観に関する一考察	和光大学人文学部紀要		24	1989	p77～87
入江幸男	ヘーゲル論理学におけるアンチノミーと無限判断	理想		641	1989	p60～69

岩城見一	転換期の美学－ヘーゲル学派の研究2－K.ローゼンクランツ『醜の美学』(要約と解説)	京都市立芸術大学美術学部研究紀要		34	1989	p1～19
岩城見一	二種の絵画－ヘーゲルにおける芸術解釈の転換について	美学	40	3	1989	p12～23
上山芳郎	ヘーゲル『精神哲学』における言語と意味	哲学雑誌	104	776	1989	p143～156
鵜沢寛明	ヘーゲル哲学と目的論	哲学会誌(学習院大学哲学会)		13	1989	p73～93
生方卓	初期ヘーゲルにおける所有と共同性の問題	大井正・西尾孝明編『ドイツ社会主義研究』(勁草書房)			1989	p1～66
海老澤善一	ヘーゲル論理学の生成と発展	理想		641	1989	p110～121
大井正	ヘーゲル学派とローレンツ・シュタイン	大井正・西尾孝明編『ドイツ社会主義研究』(勁草書房)			1989	p69～216
太田直道	ヘーゲルのカント批判4－カントとヘーゲルにおける客観性の問題2	宮城教育大学紀要		24	1989	p172～188
大西正人	形式と理念－ヘーゲル『論理学』の「絶対的理念」	哲学誌(東京都立大学哲学会)		31	1989	p23～46
大橋良介	ヘーゲルとヴィトゲンシュタイン―「論理的なるもの」をめぐって	理想		641	1989	p96～105
小坂田英之	ヘーゲルにおける「反省」の概念―絶対的否定性の構造	理想		641	1989	p36～46
小坂田英之	規定性の範疇と体系構想－ヘーゲル論理学における還帰の構造	途上(思想とキリスト教研究会編集)公論社		18	1989	p99～119
甲斐寛美	ブラッドリーの「ヘーゲルの悲劇論」	武蔵野英米文学(武蔵野女子大学英米文学会)		22	1989	p1～28
加藤尚武	本質は現象する	理想		641	1989	p14～22
加藤尚武	ヘーゲル自然哲学における個体性の概念	自然哲学研究		1	1989	p1～4
神山伸弘	人倫的理念の超越性と実在性の間－ヘーゲル『法の哲学』における革命の権利付けをめぐって	一橋研究	14	1	1989	p35～60

神山伸弘	自己意識の思惟としての国家－ヘーゲル『法の哲学』における国家への人格の一関与形態	倫理学年報		38	1989	p73～89
神山伸弘	市民社会の人倫的再編－ヘーゲル『法の哲学』における「職業団体」導出論理	一橋論叢	101	2	1989	p115～134
久保陽一	ヘーゲルにおける合一哲学の展開3	駒沢大学文学部紀要		47	1989	p26～53
粂康弘	カント的世界の支点－ヘーゲルのカント論	名城商学	38	別冊	1989	巻末p141～124
黒田則夫	ヘーゲル論理学における対自存在の研究－存在論(有論)における反省の原理	法政大学大学院紀要		23	1989	p1～14
幸津國生	ヘーゲルのニュルンベルク時代ギムナジウム講義における自己意識の章草案のクロノロギーによせて	日本女子大学文学部紀要		39	1989	p91～120
上妻精	ヘーゲル論理学の理念と構造	理想		641	1989	p2～13
小坂国継	－元論と多元論－W. ジェイムスのヘーゲル批判	日本大学創立100周年記念論文集			1989	p45～60
斎藤稔章	人間的自然の真実の権利－チュービンゲン・ベルン時代のヘーゲル	哲学論叢（京都哲学論叢刊行会）		16	1989	p40～53
佐藤康邦	ヘーゲル論理学における目的論—その科学論的可能性について	理想		641	1989	p70～83
重永哲也	概念の力能の展開－ヘーゲル判断論への一視角	論集（東京大学文学部哲学研究室）		8	1989	p132～145
芝田豊彦	若きヘーゲルにおける「生」の思想－ヘルダーリンとの関連で	独逸文学		33	1989	p1～22
鈴木喜重郎	ヘーゲル法哲学大系における国家の倫理的構成1	千葉明徳短期大学研究紀要		11	1989	p81～93
高田純	ヘーゲルの相互承認論の形成と構造3	経済と経営	20	1	1989	p173～211
高田純	承認論の転換－ヘーゲルの承認論にたいするフィヒテの影響	哲学（日本哲学会）		39	1989	p118～128
高山守	存在と矛盾	理想		641	1989	p23～35
竹内章郎	ヘーゲルの有用性論	岐阜大学教養部研究報告		25	1989	p17～32
武田趙二郎	イェーナ初期のヘーゲルの体系概念	東海大学文明研究所紀要		9	1989	p15～26

田中保敏	『精神現象学』における自己意識の普遍性と死	アレフ		2	1989	p39～59
田中茂樹	ヘーゲル『法の哲学』における「意志」論－自由と自然をめぐって	哲学論叢（京都哲学論叢刊行会）		16	1989	p54～65
津田雅夫	疎外論再考－ヘーゲル研究ノート2	岐阜大学教養部研究報告		25	1989	巻末p510～501
寺島俊輔	第12章ヘーゲル－市民社会の正義観	寺島俊輔・塚崎智・塩出彰編『正義論の諸相』（法律文化社）			1989	p195～212
豊福淳一	ヘーゲルとキキルケゴールのアンティゴネ解釈	防衛大学校紀要 人文科学分冊		59	1989	p1～40
長島隆	ブラウン説とシェリング、ヘーゲル－シェリング、ヘーゲルのブラウン説に対する評価とその相違について	日本医科大学基礎科学紀要		10	1989	p24～43
中島秀憲	ヘーゲルのヤコービ批判の意味－近代の信仰	九州産業大学教養部紀要	26	1	1989	p1～45
南条文雄	『精神現象学』における》ENTAUsERUNG《概念の位相	倫理学紀要		5	1989	p22～43
八田隆司	ヘーゲル『精神現象学』における自己意識の再検討－「主－奴」関係をめぐって	倫理学年報		38	1989	p37～53
服部正喜	ヘーゲルの所有論と自然法論	大阪産業大学論集社会科学編		75	1989	p149～158
速川治郎	ネルゾンのヘーゲル批判	早稲田人文自然科学研究		36	1989	p201～231
速川治郎	ヘーゲル『大論理学』批判4	早稲田人文自然科学研究		35	1989	p51～59
原崎道彦	意識の経験の構造－ヘーゲル『精神現象学』試論	倫理学年報		38	1989	p19～35
原崎道彦	ヘーゲル『精神現象学』試論4－未完の体系	文化	52	3･4	1989	p135～146
日暮雅夫	ヘーゲル『精神現象学』における「道徳性」の問題―カント「要請論」批判としての	早稲田大学文学研究科紀要（同大学大学院）		15（別冊）	1989	p21～29

藤原保信	ヘーゲルの自然観ーヘーゲル自然哲学研究序説	早稲田政治経済学雑誌		295・296	1989	p115～134
船橋弘	ヘーゲル『精神現象学』の方法と意義	岡山大学教養部紀要		25	1989	p1～19
船盛茂	イェーナ時代におけるヘーゲルの哲学の導入の問題と論理学の理念	美作女子大学・美作女子短期大学紀要		34	1989	p1～10
坊城明文	イェーナ期ヘーゲルの人倫思想の実像を求めて(その1)自由と共同ー相反するーテーゼの解釈をめぐって	福井工業大学研究紀要		19	1989	p457～466
星敏雄	ヘーゲルにおける客観的論理学と形而上学	理想		641	1989	p84～95
星敏雄	自然哲学の理念と射程ーカントとヘーゲルの場合	自然哲学研究		1	1989	p5～12
干場薫	ヘーゲル弁証法と真無限	哲学論究		8	1989	p18～32
細見和之	承認的主体を求めてー『精神現象学』「良心」論の解釈を中心に	年報人間科学（大阪大学人間科学部）		10	1989	p129～124
本多修郎	マルクスのヘーゲル主義	理想		641	1989	p106～109
松井正樹	弁証法研究序説	岐阜大学教養部研究報告		25	1989	p1～15
水野建雄	解釈学的経験と弁証法 ーガーダマーのヘーゲル批判をめぐって	哲学･思想論集 / 筑波大学哲学･思想学系		14	1989	p1～13
谷嶋喬四郎	ヘーゲルのフランス革命観をめぐってーヘーゲルの問題意識は現代日本にとってどの様な意味をもつか〔独文〕	社会科学紀要		38	1989	p1～19
山口祐弘	無限性概念の論理学的基底ー『精神現象学』と『論理学』との一対応	理想		641	1989	p47～59
山口誠一	ヘーゲル『差異論文』における前提の概念［独文］	法政大学教養部紀要		70	1989	巻末p1～19